

# 町民のみなさんと歩む 木古内町 議会だより

vol.133

平成28年2月1日発行

- 発行／木古内町議会
  - 編集／議会だより編集特別委員会
- 〒049-0422北海道虻田郡木古内町字本町218  
TEL.01392-2-3131 FAX.2-3622

<http://www.town.kikonai.hokkaido.jp/kikonaityougikai/kikonaityougikai.htm>

木古内町議会

検索

成人式式典 ～二十歳の晴れ舞台～

## contents

定例会 P2

一般質問 P4

特集 中学生議会 P9

総務・経済常任委員会レポート P12

意見書・陳情報告 P15

お知らせ P16

可決された主な  
議決事項（抜粋）

- 議案第1号  
平成27年度木古内町一般会計補正予算（第6号）
- 議案第2号  
平成27年度木古内町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
- 議案第3号  
平成27年度木古内町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）
- 議案第4号  
平成27年度木古内町国民健康保険病院事業会計補正予算（第2号）
- 議案第5号  
平成27年度木古内町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）
- 議案第6号  
平成27年度下水道事業特別会計補正予算（第3号）
- 議案第7号  
木古内町固定資産税の不均一課税に関する条例制定について
- 議案第8号  
木古内町税条例等の一部を改正する条例制定について
- 議案第9号  
木古内町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例制定について
- 議案第10号  
木古内町過疎地域自立促進市町村計画の変更について
- 議案第11号  
木古内町非核平和都市宣言について

「道南いさりび鉄道」開業に伴い  
値上げ分の通学費を町が助成



平成27年12月定例会は、12月17日に開催され平成27年度一般会計・各特別会計並びに各事業会計補正予算6件のほか、条例制定等の議案5件、報告1件、選挙1件、事務調査発議1件、意見書3件（詳細15ページ）を可決して閉会しました。



一般質問が出され、大森町長からは「新年度より値上げ分を助成する」との答弁がされました。（詳細4ページ以降）

行政報告

11月1日（日）午後1時34分頃、大平地区で火災が発生しました。出火原因は、段ボールなどを燃やした火の粉が飛散したことにより、農機具等に延焼したものとされ、消防の出動により午後1時54分に鎮火しました。

なお、この火災の防災無線周知は、リアルタイムで行われなかったため、今後は迅速な周知徹底を図り、住民へは引き続き火災予防の注意喚起を促す旨の報告がされました。（※野焼きは法律で禁止されています。）

## 補正予算

### 一般会計

主な補正内容は次のとおりです。

歳入では、マイナンバーに係る整備費補助金として439万6千円、選挙権年齢引き下げに伴うシステム改修費補助金として28万円、北海道新幹線工事に起因した町道損傷機能回復に対する補償金として1353万7千円、道南いさりび鉄道に係る事業債1480万円、塩蔵ワカメ施設整備に係る事業債630万円をそれぞれ追加補正するものです。

また、歳出では、マイナンバーに係る負担金として439万6千円、選挙権年齢引き下げに伴うシステム改修委託料として56万2千円、塩蔵ワカメ施設整備に係る補助金631万円、中学生の食育指導報償費12万円、小学校吹奏楽部に係る報償

費21万9千円、中学校の全道バレーボール及びスキー大会に出場するための報償費として132万3千円をそれぞれ追加補正するものです。

歳入歳出予算の補正は、5356万8千円を追加し、総額5億126万6千円となりました。

### 塩蔵ワカメ施設整備事業費を補助

養殖ワカメ生産漁家と養殖施設増加による生産量の拡大を図るため、塩蔵ワカメ施設整備費用に助成を行いました。このことにより、漁家の収入増加や加工員の雇用の創出を図ります。

総事業費は1820万7千円で、町631万円、道843万5千円、漁組346万2千円をそれぞれ負担します。

### 国民健康保険特別会計

歳入歳出補正予算は、国保病院事業会計繰出金2675万2千円など3107万1千円を追加補正し、総額9億9519万8千円となりました。

### 後期高齢者医療特別会計

平成26年度広域連合納付金の実績確定に伴い625万7千円を減額補正し、1億6318万2千円となりました。

### 介護保険事業特別会計

歳入歳出補正予算は、日常生活圏域二一ズ調査に伴う77万円の追加補正などで、総額7億269万1千円となりました。

### 日常生活圏域二一ズ調査の追加補正

日常生活圏域二一ズ調査内容は、高齢者の心身の状況や環境をはじめ、介護の必要性など調査し、第7次介護事業計画に反映させるものです。

### 下水道事業特別会計

歳入歳出補正予算は、水洗化助成金の交付件数の増による20万円を追加補正し、2億3027万6千円となりました。

### 国民健康保険病院事業会計

主な補正内容は、医療機器整備事業並びに職員住宅建設事業の国庫補助金等の確定に伴

う企業債520万円の追加補正と国庫補助金351万3千円の減額補正です。

## 選挙

木古内町選挙管理委員会委員及び同補充員の選挙が指名推選で行われ、次のみなさんが当選されました。

### 選挙管理委員会委員

高田 孝一 さん  
泉田 満壽榮さん  
小泉 五郎 さん  
北野 友子 さん

### 選挙管理委員会委員補充員

山川 肇 さん  
脇本 武夫 さん  
渥美 徹 さん  
新家 悦子 さん

## 議会閉会中の所管事務調査項目の承認

議会閉会中の総務・経済常任委員会所管事務調査項目が承認されました。

### まちづくり新幹線課

- ・人口減少対策について（継続）
- ・平成27年度北海道新幹線木古内駅開業記念事業について（継続）

### 建設水道課

- ・JR江差線廃止に伴う鉄道資産について（継続）
- ・新釜谷生活改善センター設計について

### 産業経済課

- ・はこだて和牛ブランド化推進事業について
- ・経済団体（商工会・農協漁協）の現況について

その他緊急を要する課題について

## 5名の議員が町政を問う

一般質問は、定例議会（年4回）において、町政全般にわたる事項を議員が質問を行い、新たな政策の提案や意見、是正を求めるものです。



鈴木 慎也 議員  
suzuki shinya

## 問 道南いさりび鉄道開業に伴う高校通学費の助成を

## 答 値上げ分を助成します ― 町長

## 高校通学費の負担軽減は

## 道

南いさりび鉄道開業に伴い従来のJR運賃より概ね1.3倍程度高くなると決定されました。今回の値上げにより、利用者の経済的負担が懸念されます。

特に函館方面へ通学している高校生については真剣に考えなければなりません。この値上げ分を町が助成し、負担を軽減することで将来、木古内を担う子どもたちの教育環境が少しでも整うことを願っています。町長の見解を伺います。

## 大森町長

発表のデータを基に値上げ分を通学定期運賃で算出すると木古内〜函館間（五稜郭〜函館間はJR北海道に乗り継ぎ）では、年間で4万5240円の大きな負担増になり

ます。そのことから、保護者の皆様の負担に配慮するとともに、地域の鉄道会社としての使命も勘案し、新年度から値上分を助成していきます。



通勤・通学には欠かせない「道南いさりび鉄道」

## WiFiスポットの設置を

## 世

界的にSNSの需要が高まる中、公共施設へWiFi（※1）スポットを設置する自治体も増え、観光施設など様々な場所に提供されてきています。

設置の目的は、「旅行者へのサービス向上による観光の振興と町民の災害時の通信手段確保」などがあります。

このことから、今後増加が見込まれる観光客が、町内を快適に周遊するためにWiFiスポット設置は欠かせないものと考えます。関連事項3点と重ね町長の見解を求めます。

- ① 外国人対応スタッフ及び多言語対応案内看板等の設置
- ② 新幹線開業後の観光客数値目標の設定
- ③ 高規格道路のインター名の早期要望

## 大森町長

WiFiスポット設置は、道の駅へ設置し、他の観光スポットには事業効果など考慮し方針を決定します。

次に1点目の外国人対応スタッフの配置ですが、英語に加え、中国系外国人に対応する

スタッフを配置する計画でいます。

また、多言語対応案内板等については、駅前の観光案内板のほか、観光スポットの説明板など多言語の表記を行い、よりわかりやすい表記に努めます。

次に2点目の観光客目標の設定については、実績6万2千人の約3倍にあたる20万人を目標としています。

次に3点目の高規格道路のインター名の早期要望については、より利用者によりやすく、認知度の高いものが必要と考えています。いずれにしても事業主体の函館開発建設部に名称の考え方を伺い、その後検討していきます。

（※1）WiFi…無線（ワイヤレス）でネットワークに接続する技術。フリーエリアでは誰でも利用できます。



相澤 巧 議員  
aizawa takumi

## 問 福祉灯油受給条件の拡大を

## 答 前向きに検討します ——— 町長

### 福祉灯油の受給条件の緩和を

福祉灯油受給申込受付のチラシが配布されました。施策として大変有意義なものと考えています。

しかし、受給条件が前年収入85万円以下で、町民税非課税世帯となつていきます。年収85万円の生活は、大変厳しいものであり、うち生活保護者は対象外ですので、ごく僅かな世帯のみが対象となつてい

ると想定されます。厳しい収入の中で頑張っている世帯に、収入条件を緩和して対象世帯を拡大すべきと考えます。町長の見解を求めます。

に実施の見送りをする自治体があります。その中町においては、毎年実施し、今年度も11月末までに、44世帯からの申請があり、41世帯の支給決定を行っています。

### 大森町長 昨年条例改正し、灯油以外の暖房

を利用しては、今年度事業を拡大して収入条件の緩和など含め、見直しの協議、条例改正に向けた検討を前向きに考えていきます。

対象世帯の拡大については、今年度事業を実施していることから、翌年度中に収入条件の緩和など含め、見直しの協議、条例改正に向けた検討を前向きに考えていきます。

### 高校通学費の助成拡大を

6月定例会では、町長から「函館方面に通う生徒への助成は考えてない」との回答でした。先ほど同僚議員からも質問があつたとおり「道南いさりび鉄道」が開業されます。現在でも函館方面へ通学させることが大変という中での運賃増額です。先ほどの町長の答弁では「値上げ分を助成をする」とのことでしたが、それ以上の助成増額の考えはありませんか。

### 大森町長 6月定例会で回答したとおり助成は考えていません。

今回はあくまでも「道南いさりび鉄道」への変更に伴う増額分を助成するという事です。

**一 福祉灯油等支給事業を行います一**

町では、昨年引続き一定の要件を満たす世帯を対象に福祉灯油等支給事業を実施します。下記の要件に該当すると思われる方(世帯)は、夜場町民税又は、各地区担当の民生委員(裏面記載)へ申請してください。

**どんな世帯が対象となるの？**

- ・生計を一つにしている世帯で、今年度町民税非課税世帯かつ前年の収入が86万円を超えない世帯(どちらにも該当すること)であり、次のいずれかに該当する世帯
- (1)世帯員が65歳以上(11月1日現在)の世帯
- (2)ひとり親家庭等医療費安否手帳を交付されている世帯
- (3)精神障害者保健福祉手帳を交付されている世帯
- (4)重度心身障害者医療費安否手帳を交付されている世帯
- (5)特別児童扶養手当を受給している世帯
- (6)療育手帳を交付されている世帯

※ただし、(3)、(4)、(6)の交付該当者が施設入所している場合は除く  
※対象世帯は11月1日現在に本町内に居住し、現に住民基本台帳に登録されている世帯とします。  
※年金収入については、遺族年金や障害者年金等も含まれます。  
※収入は、世帯主だけでなく世帯員の合計収入で審査します。

**どんな世帯が対象とならないの？**

- ・次のいずれかに該当する場合は、対象となりません。
- (ア)今年度の町民税が課税されている世帯
- (イ)世帯の前年収入の合計が85万円を超えている世帯
- (ロ)生活保護を受給している世帯
- (ハ)世帯員が病院等に入院している場合
- (ニ)世帯員が福祉施設等に入所している場合
- (ホ)世帯員が矯正施設に収容されている場合
- (ヘ)盲老以外の他に居住又はそこで生活をしている場合

※住民票上、世帯分離をして単独世帯となっていますが、実際には65歳未満の方と同居している場合は対象となりません。

**どんな方法で支給されるの？**

- ・1世帯あたり福祉灯油券(1枚180gを5枚)として900分、電気・薪等を標準に使用している場合は、12月1日の灯油単価900円相当の現金を支給します。(福祉灯油券は年末までに各地区担当民生委員が各世帯を訪問し配布。電気・薪使用の方は口頭振込いたします。)

**申請受付・期限はいつまでなの？**

- ・申請受付・期限は、11月11日(水)～11月30日(月)までとなります。期限が過ぎても何らかの理由があれば1月末日まで随時申請を受付します。申請書は、町民課窓口で用意しています。
- ・昨年支給該当となり、今年も要件を満たしていると思われる世帯には、民生委員が訪問し申請書を持参しますが、申請書等が届いていないが対象となると思われる方は下記担当までご連絡ください。

〈問合せ先〉 本古内町夜場 町民課住民グループ  
社会福祉・年金担当 電話 2-3131(内線123・124)

全戸配布された福祉灯油のチラシ



竹田 努 議員  
takeda tsutomu

## 問 地方創生先行型交付金に着手できない理由とは

## 答 交付金の要件を全て満たす事業がない — 町長

先駆的な事業にな  
ぜ着手出来なかつ  
たのか

人口減少対策につい  
ては、庁舎内検討  
会議を立ち上げ、検討  
された事業の一部は本  
年度から実施されてお  
り、その意気込みは評  
価したいと思えます。

しかし、一般のマス  
コミ報道にあるとおり  
地方創生による先駆的  
な事業へ当町は着手し  
ていません。なぜ出来  
なかつたのか町長の見  
解を伺います。

**大森町長** 地方創生先  
行型交付金の交付要件  
としては、先駆性を有  
し、広域のかつ「K P  
I」(※1)が設定され  
ているなどが条件とさ  
れています。このよう  
な全ての要件を満たす  
事業がなかったことが  
大きな原因となってま  
す。

再質問 もっと幅広く  
有利性のある制度を活  
用した「まちづくり」  
をすべきであり、一歩  
先に出るような施策が  
必要と考えています。

もう時期的に新年度か  
らの事業になると思い  
ますが、今後も様々な  
交付事業があると思  
います。町長の決意、見  
解を伺います。

**大森町長** 限られた財  
源の中で、効率化を図  
っていき、住民に喜ば  
れ、人口増に繋げてい  
くことが大きな課題で  
あります。意見を十分  
に参考にして前向きに  
進めていきます。

### 新幹線と道南いさ りび鉄道の開業に あたり支援策は

**北** 海道新幹線と道南  
いさりび鉄道の開  
業にあたり、何らかの  
支援等を講ずべきと考  
えています。以下の4

点について町長の見解  
を伺います。

① 高校通学定期の支援  
の考え

② 高校通学定期の年度  
前分(3月26日から  
道南いさりび鉄道に  
変更)の支援の考え

③ 道南いさりび鉄道区  
域内での貨物列車ト  
ラブル等による客車  
対応の考え(中学生  
の通学対応)

④ 海峡線スーパー白鳥  
廃止に伴うセレモ  
ニー等の開催の有無



3月21日で運行が終了する海峡線スーパー白鳥

**大森町長** 1点目は先  
ほど回答したとおり、  
増額分を助成します。

次に2点目ですが、  
通学助成を3月26日か  
ら該当させ不利益が生  
じないように配慮しま  
す。

次に3点目の列車の  
事故等ですが、絶対に  
ないとは言えませんが、  
トラブルの際は中  
学生の通学に支障がな  
いようスクールバス、  
福祉バスの運行に配慮  
していきます。

次に4点目の特急列  
車のお別れセレモニー  
ですが、大事なことに  
認識しています。JR  
北海道の発表によると、  
3月21日が特急白鳥の  
運行最終日になります。  
現在、セレモニーは  
予定されていませんが、  
JR北海道と協議し、  
町としてどのような対  
応ができるか検討しま  
す。

(※1) K P I…重要業績評価指数。目的を達成するための過程をクリアできて  
いるかを計測する指数。



平野 武志 議員  
hirano takeshi

**問** 人口減少対策を提案します

**答** 人口減少対策検討会議に諮り、十分に協議します ——— 町長

**人口減少対策の  
具体的施策を提案**

人口減少対策の具体的施策について、

高齢者を守るためにも特に急務である中間年齢層をターゲットとした次の12項目を提案します。

- ① 町外からの移住者への住宅建設費助成
  - ② 町外からの移住者への住宅賃貸費用助成
  - ③ 通勤費助成（①②該当者）
  - ④ 保育料無償化
  - ⑤ 小学校入学祝い金
  - ⑥ 中学校入学祝い金
  - ⑦ 高校（専門学校）進学祝い金
  - ⑧ 高校通学交通費半額助成
  - ⑨ 義務教育期間の教材費全額補助
  - ⑩ 国保病院の小児科の常設
  - ⑪ 出産祝い金
  - ⑫ 高校生まで医療費の無料化
- 「給食費無償化」や

様々な施策を併せ、移住者へのPRができ、人口減少の歯止めにつながるかと考えます。町長の見解を伺います。

**大森町長** 提案された12項目の施策は、重要な案件と認識していません。現在協議している項目も含め、人口減少対策検討会議等に諮り、検討します。

**再質問** 事業を協議する際は、必ず目標数値と経済効果を明確にしてください。財源の問題もあると思いますが、経済効果を考慮すれば、結果的に町にプラスになります。施策を投じるといった一歩進んだ考えを持ち、検討してください。

**大森町長** 先ほど「KPI」と言う表現を使用しましたが、これは平たく言うと重要業績の評価指数で、数字を

積み上げ経済効果を求めるものです。これを基に各施策の事業費、財源、目標値、効果等を精査したうえで提案する運びとなっております。その中でも、より優先度が高く効果的な事業から進めたいと考えています。



庁舎内人口減少対策検討会議

うのように人事配や給与に反映させていくのか町長の見解を伺います。

**大森町長** 平成28年4月より指摘のとおり国から制度導入が義務づけられました。

この制度の仕組みについては、各部署の組織目標を明確にし、各職員が役割に応じた目標を定め、より公平な評価をすることが望ましいなど議論をしています。

この制度の一番の目的は、人材育成や能力の開発であり、個々の能力や業績を処遇に反映することが主要となっております。公平かつ適切な評価制度の枠組みを確立させ、慎重に判断したいと考えます。

**人事評価制度システムの導入にあたり**

**法** 改正により、次年度から人事評価制度（※1）システムが導入されます。導入にあたり様々な協議がされたと思いますが、ど

（※1）人事評価制度…個人の能力・行政評価を行う制度。職員の能力向上、士気高揚等の効果を目的とする。



新井田昭男 議員  
niida akio

## 問 地域包括ケアでの「サロン」に係る事業費の拡大は

## 答 事業実績を踏まえ補助金での支援を進めます —— 町長

### 「サロン」事業へ 予算を

平成24年より泉沢地区がモデルとなり、

ピンコロ体操を実施、平成26年より「泉沢サロン」を開催し、現在に至っています。泉沢地区では、参加者も多くなり47名で、食事的な開催を行いました。

国による在宅介護の奨励が問われる中、町も職員が知恵を絞り、包括ケア(※1)事業を展開していますが、より一層の鋭意努力を期待しています。そこで、今後の「サロン」事業(※2)について、次の3点について町長の見解を求めます。

①平成27年度予算では、「サロン」に係わる事業費が約20万円程度で概ね需用費となつています。開催地区へ補助金等を交付し、支援する考えはありませんか。



泉沢地区開催の「サロン」

②「泉沢サロン」での開催の際、担当職員が挨拶後に退席をしました。本来指導の立場にいる職員が開催後不在になり、投げやり感も感じています。地域独自で活動する方向性はありませんが、今後の対応はどう考えていますか。

③参加者の多くの高齢者は、今後の開催にも期待を寄せています。行政サービスとして車による移動手段を検討できませんか。

大森町長 1点目の支援ですが予算策定段階では、事業実施に向けて、各町内会へ要請するとしており、実施地域の確定ができていませんでした。このため、年度途中から事業を実施する町内会を想定し、消耗品など需用費のみを計上としました。

補助金対応になると運営計画、事業費予算策定が伴います。初年度は気軽に取り組んでいたため、需用費のみとしましたが、来年度は実績がありますので、補助事業計画を策定し、支援を進めていきます。

次に2点目の「サロン」への対応ですが、職員につきましては、事前に地区のサロン担当者と打合せを行い、当日の司会進行やいきいき体操を実施し、午後からは退席する計画で進めています。また、地域サロンに

携わっているかたと今年度の実施内容について評価検討会を行い、次年度の実施計画を立てていくとしています。次に3点目の車の移動手段については、個人の車で乗り合いしながら、行われていると伺っています。長距離の移動が困難なかたや移動支援が必要なかたが楽しんでいただけるよう、公用車等の活用についても協議していきます。

(※1) 地域包括ケアシステム…住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、地域の特性に応じ住まい・医療・介護・予防・生活支援の要素を一体的に提供されるシステム。

(※2) 「サロン」…地域との交流やふれあいの場、交流会、懇談会。

特集  
中学生議会



まちへの思い  
故郷を元気にしたいから

中学生が議員となり、町政に関する一般質問を町に対して行う「中学生議会」を11月25日に役場議場で開催しました。

開催の目的は、町政に対する関心や主体的に地方自治への参画意識を高めてもらうことが主なもので、総合的な学習の一環として今回で2回目の開催となっています。

今回の開催では、中学3年生37名が議員となり、そのうち代表で議長と一般質問者10名を選出し、行政の立場として町議より回答する形式で進行了ました。

一般質問の内容は、質の高い内容であるとともに、まちへの強い思いが感じられ、議会としても大変勉強となる事業となりました。

議長を務めて

議長を務めて、とても緊張しましたが、将来このような場面があるかもしれないので、とても貴重な経験となりました。

また、議会議員に興味を沸き、議員になりたいと思いました。



吉田 航輝  
くん

定例会  
一般質問  
特集  
常任委員会  
意見書  
お知らせ

**Q** 通学路に防犯灯の増設を

**A** 教育委員会と連携し町内会へ相談します



木元 良輔 くん

夜の通学路は暗くて怖い箇所があります。町内の街灯増設をお願いします。

佐藤議員 町では、防犯灯の設置・管理を町内会へお願いしており、電気料の全額と設置費用等の一部を助成しています。増設については、町内会にお願いすることにありますが、教育委員会と連携し町内会へ相談させていただきます。

**Q** 歩行者に安全な歩道の整備を早急に

**A** 今後も改良をすすめていきます



平野 恵さん

歩道の増設を要望します。特に冬になると積雪のため歩道を歩けず危険です。歩道の増設と冬期間の除排雪に關して早急な改善をお願いします。

手塚議員 当町の道路は、国で管理する国道、道が管理する道道、そして町が管理する町道があります。国や道には、一部除雪されていらない箇所をこれまででも要望していますので、今後も継続していきましょう。町道に關しては、歩道の増設や改良を行ってきており、今後も歩行者の安全に配慮し改良に努めます。

**Q** 学校の椅子や机を交換してほしい

**A** 今後検討していきます



日比野 百さん

机や椅子は、まだ使えるものもありますが、安定性の悪いものがあるため、少しでも新しいものに交換してほしいです。また、大きさの調整可能なものがあると学習も取り組みやすくなると思います。

新井田議員 現在は、通常の学習に支障がないものと考えています。安定性や不具合などがある場合は、いまある備品を優先して使用してほしいと考えています。ものや大事にすることも学習の一環です。新規備品の購入については、小学校の状況や財政面を踏まえ、検討していきます。

**Q** 人口減少対策の具体的な展開は

**A** 計画をまとめ施策を推進していきます



東口 深くん

消滅可能性都市ランキングでは、当町が全国4位、道内で2位です。このままでは自分達の故郷がなくなってしまうと思うと悲しくなりました。人口減少対策はどのようなことをして、どのような効果が出ていますか。具体的な内容を伺います。

福嶋議員 町では、人口減少対策を様々な方向から検討しています。子育て支援策の一つとして、給食費の無償化を実施しました。今後も駅前建設された「みそぎの郷きこない」、建設中の道管住宅等により、交流人口の増加を図り、地方版総合戦略の策定を進め、計画を推進していきます。

**Q** 旧中学校の活用方法は

**A** 有効活用を模索するとともに取り壊しを検討



仁禮 望さん

旧中学校は、耐震強度が不足していると聞いています。そのような危険な建物を放置しておくのですか。また、活用方法がある場合は、その活用方法を伺います。

新井田議員 企業誘致を含めた有効活用を検討してきましたが、実現まで至っていない状況です。今後は、取り壊しの方向を含め、最終的な判断をしていきます。その間、周辺の草刈りや建物の破損など定期的に点検を行い、安全対策に留意していきます。



Q 新幹線開業のプランは

A 様々な企画を継続して実施してまいります



花々菜 菜々子 樋口

新幹線開業が迫り町も盛り上がってきましたが、現状では、「これぞ木古内」といった名物や名所がなく、アピールが弱いと感じています。新幹線開業後の具体的プランをお伺いします。

Q 中学生のスクールバスの利用は

A 乗車は可能です



介 之 慎 岩上

現在JRで通学していますが、事故や故障で登校時間に間に合わないことがあります。スクールバスであれば運休になることもないと思いますし、子どもの数も減ってきて、中学生も乗れる余裕もあると思うのですが検討できないのかお伺いします。

Q 習熟度学習の実施を

A 中学校と協議して次年度以降検討します



大 裕 高橋

生徒一人ひとりに合わせて、基礎を身につけるコースとハイレベルな内容を学習するコースを作ることは可能ですか。このことにより、自分のペースで学習ができ、学力低下に歯止めをかけることができると思います。

Q 中学校の施設整備計画の状況は

A 中学校と協議して実施しています



光 中村

中学校の施設について、以前提示していただいた自転車置き場の整備などの学校改修計画は、どのように進行しているか具体的に説明を求めます。

Q 高校の通学助成の見直しを

A 助成を拡大する考えはありません



あ い り 畑中

現在、知内と福島の高校に通学する際は助成金がありますが、実際に通学者が多い函館方面への通学助成の考えは検討できないのかお伺いします。



# 総務経済 常任委員会 レポート

## 12月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

総務・経済常任委員会は9月定例会以降、所管事務調査を3回にわたり開催し、12月定例会において「所管事務調査報告」が行われました。

### 調査した事務調査

#### 第7回総務・経済常任委員会 10月5日開催

- 総務課
  - ・ふるさと納税について
- 保健福祉課・病院事業
  - ・地域包括ケアシステムの取り組み状況について
- 現地調査
  - ・薬師山芝桜土留工事
  - ・駅周辺整備事業

#### 第8回総務・経済常任委員会 11月20日開催

- 産業経済課
  - ・ヒジキ養殖技術導入事業及び木古内産ヒジキブランド化事業について
  - ・塩蔵ワカメ施設整備事業について
  - ・みそぎ浜の海浜側整備について
- 病院事業
  - ・国民健康保険病院事業会及び介護老人保健施設事業会計の上半期収支状況について
- 建設水道課
  - ・水道事業会計及び下水道事業特別会計の上半期収支状況について
- 現地調査
  - ・スポーツセンター耐震改修工事

#### 第9回総務・経済常任委員会 11月26日開催

- まちづくり新幹線課
  - ・人口減少対策について（継続）
  - ・観光交流センターについて（継続）

### 「所管事務調査報告」

#### ふるさと納税 について

今年度から我が町においてもふるさと納税推進事業が実施され、上半期の状況報告では予算計上に見合った寄付金実績となっている。その中で、返礼品の品切れ対策として特産品の新規開発を依頼し、早期に代替え品を準備した事は評価に値する。今後の事業展開として、下記記載の課題への取り組みを求めると



品薄状態の「はこだて和牛」

ともに、ふるさと納税推進事業実施要項に基づき、引き続き木古内町のPRや町内事業者の活性化に努められた。

### 塩蔵ワカメ施設整備 事業とヒジキブラン ド化事業について

近年、回遊魚の不漁や台風・高水温等の気象状況による被害の発

- 返礼品の商品確保と品切れ対策について担当課と協議・調整
- 寄付者にとって、魅力のある多彩な商品構成（商品数拡充）
- 2年目になる平成28年度に向け、向上心あふれる目標数値と予算措置
- 早い時期での民間業者への委託



漁業関係者ヒジキ先進地視察（三重県鳥羽市）

生により漁業者の生活は大変厳しい状況が続いている。そのような状況の中で、地方創生と北海道の補助金を活用し、二つの事業が進められている。両事業については、漁家の収入増や雇用の

### 人口減少対策 について

第2回、第3回定例会に引き続き報告する。木古内町の最優先課題である人口減少対策は、目に見える施策の展開

場の創出、さらには木古内町の特産品としての確立を図ることが目的であり、収支計画を見ても大いに期待の持てる事業である。今後、上磯郡漁業協同組合や漁業者と連携を取りながら、試験・調査等を慎重に進め両事業の目的達成を望む。

や結果が求められ、今後、人口減少検討会議においては、まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進委員会の協議・検討内容を反映させた向こう5年間の「地方版総合戦略」の作成と次年度事業（施策）の確定報告及び次の項目別事業内容の協議状況や効果・目標数値・事業計画年度等をまとめた資料の作成を求める。



町の有識者からなる「まち・ひと・しごと創生総合戦略策定推進委員会」

- 移住・定住対策（空き家活用等）
- 企業誘致対策
- 子育て支援
- 少子化対策
- 木古内町サポーター制度の研究・整備

## 質疑要旨

### 薬師山芝桜の魅力向上を

**鈴木委員** 遊歩道の急勾配の安全面強化（ウッドチップの更新・注意喚起看板の設置）や景観の向上（フェンス・駐車場など）は検討していますか。

**木村産業経済課長** 看板やウッドチップは、劣化具合を見ながら前向きに検討します。駐車場についても墓地利用者との兼ね合いもありますので、そこも含めて検討します。



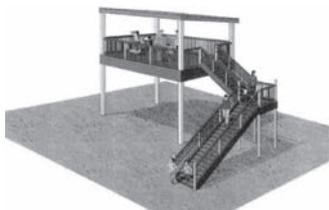
薬師山の芝桜整備（現地調査）

### 観光スポットの全体像は

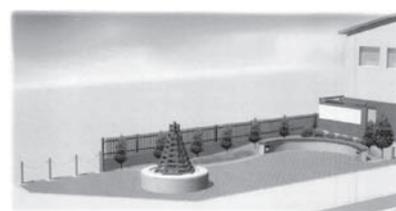
**新井田委員** 新幹線ビュースポットなど整備事業の説明を受けましたが、特にみそぎ祭は全国区になっており、みそぎ浜の整備構想はこれが最終形ですか。



海側  
みそぎ浜ウッドデッキ整備のイメージ図（H28年4月完成予定）



新幹線ビュースポット整備のイメージ図（建川地区建設・H28年1月完成済み）



駅前ポケットパーク整備のイメージ図（H28年1月完成済み）

**若山建設水道課長** ウッドデッキの設置だけが最終形ではありませんので、将来的にも観覧席の増設などスペースの有効活用に努めていきます。

### 地域包括ケアシステムの課題に対する具体案は

**平野委員長** アンケート結果を踏まえ、問題点を検討会議で議論していることは理解しますが、具体的な取り組みが決まったものではありませんか。

**名須賀保健福祉課長** 今年度から「デイサービス」「いきがいサロン」を泉沢地区で実施し、これから町内3地区へ呼びかけていきます。また、介護従事者の処遇改善として、従業員の賃金上乘せ事業を実施しています。

**竹田委員** 来春から24時間訪問看護は再開されますか。また、訪問リハビリについても内容を説明ください。

**平野病院事務局長** 利用者へは大変迷惑をかけていると思います。遅くとも来春までに再開をさせます。また、訪問リハビリについては、理学療法士を3名増員して、受け入れを行っていますので、要望に添ってサービスを提供していきたいと考えています。

**スポーツセンター耐震  
改修工事鉄骨の錆は**

**新井田委員** スポーツセンターの耐震改修工事に際して内壁などの塗装もしていましたが、一部のドアの塗装漏れや鉄骨に錆がありました。したが、どうしてできなかったのか説明をお願いします。



十字の鉄鋼で耐震強化されたスポーツセンターの内壁

**小池主幹** 確認できていなかったもので、直ぐに対処できるものは塗装し、足場など必要となるものは、今後予定される暖房設備の工事の際に対応したいと思います。

**鈴木委員** 照明もLEDに変更され、明るく快適になったように思いますが、どの程度、照度や電気代に反映しますか。

**小池主幹** 照度は約2倍、電気代も2分の1になります。

**国保病院事業の  
経営状況は**

**竹田委員** 入院・外来が減つてくる状況で、入院収益が増えた要素は、地域包括ケア病床（※1）による収益増と考えてよろしいですか。  
**平野病院事務局長** リハビリや退院支援を中心とした地域包括ケア病床により、上半期で約2千万円の増収が図られています。

**道の駅「みそぎの郷きこない」オー  
ブンに向けて**

**竹田委員** 道の駅飲食

施設の奥田シェフ監修「どうなんde's」が同時にオープンします。当町は、飲食部分に什器備品等を含め、かなり力を入れてきたと思います。町民へのPRやイベントの開催など検討していませんか。

**丹野新幹線振興室長** 町民へのPRは、オープン前に町民のかたも含め多くのかたが来られていますので、おおよそ店の雰囲気は伝わっていると認識しています。また、町民を対象としたオープン13日には、多くのかたに施設の中やメニューなど見ていただきたいと考えています。  
**平野委員長** 町内外のかたが気軽にに行けるような愛される飲食店になるように努力をお願いします。



オープンされた道の駅「みそぎの郷きこない」

発行や道の駅常駐の観光コンシェルジュからの情報提供も合わせて進めていきます。  
**手塚委員** 什器備品類一覧に「道南スギ玉」4500個とありますが、利用目的を説明願います。

**鈴木委員** 道の駅でのレンタカーを活用した観光事業について、シーズンにより多くの台数確保が必要となると思います。基本的な体制の説明を願います。また、カーナビに当町の観光や飲食情報などを入れることは可能ですか。

**丹野新幹線振興室長** 通常は10台から14台の車両を配置し、混雑時には道南のグループ内での融通は可能と考えています。カーナビの事前登録、観光情報については、レンタカー会社へ提案し、さらに、周辺広域マップの

**丹野新幹線振興室長** マグネットや缶バッチなどの作成を指定管理者と調整し、計画をしています。

（※1）地域包括ケア病床…病状が安定しリハビリや退院支援など、効率的に密度の高い医療を提供するために国から許可を受けた「在宅復帰支援の為の病床」。

## 可決され関係大臣に 提出した意見書 3 件

### 『国の教育予算を増やして「高校無償化」を復活し、給付制奨学金の確立を求める意見書』

提出者 平野 武志 議員

「高等学校等就学支援金」への所得制限をやめて「高校無償化」の復活、給付制奨学金の確立を強く要望しました。

### 『給付型奨学金の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める意見書』

提出者 手塚 昌宏 議員

大学生の「奨学金」利用率が年々増加しているため、給付型奨学金制度の導入や教育費負担軽減を強く要望しました。

### 『TPP交渉大筋に対する意見書』

提出者 吉田 裕幸 議員

TPP交渉大筋合意内容の全容と影響等について、説明責任を果たすとともに地域経済が衰退することのない政策の構築を強く要望しました。

## J R 北海道本社へ 北海道新幹線木古内駅の 停車本数に係る要望書を提出



町長から J R 北海道へ要望書を  
手渡しました

北海道新幹線 3 月 26 日開業に向けて、新幹線ダイヤ確定前の昨年 12 月 2 日に、木古内駅の停車本数に関して、議会、町、商工会並びに渡島・檜山構成自治体とともに J R 北海道本社へに要望書を提出しました。

内容については、現在運行している特急停車本数（10 往復）以上とし、現在の利便性が低下することのないよう要望しました。

その結果、ダイヤ発表は 12 月 18 日に行われ、木古内駅に 8 往復 16 本の停車が決定されました。

## 意見書 の提出

### 意見書 3 件を要望

平野議員、手塚議員、吉田議員から提出された意見書案は原案どおり可決され、内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました。

## 陳情 報告

### J R 北海道へ陳情

J R 北海道本社へ木古内町議会も陳情活動を行いました。



## 議会インターネット中継へ 接続してみませんか

### (接続手順)

- ステップ① 木古内町議会ホームページを検索し開きます。  
 ステップ② 議会ライブ中継のボタン（画面下段）をクリックします。  
 ステップ③ 木古内町議会の中継画面へ切り替わります。  
 ステップ④ 本会議中はライブ映像が流れます。  
 ※開催終了後も1ヶ月程度は過去の番組（画面右側）でご覧できます。

### (中継内容)

- 1 中継の対象となる会議は、木古内町議会の本会議です。  
 ※休憩及び地方自治法第115条ただし書きに規定する秘密会が決定したとき以外の本会議について、議会中継します
- 2 議会中継はUstream（ユーストリーム）社のサービスを利用し、ライブストリーミング（生中継）とレコードストリーミング（録画中継）を用い、映像及び音声の配信を行います。

### (注意事項)

- 1 議会中継で配信する映像及び音声は、法的根拠に基づいた木古内町議会の公式または正式な記録ではありません。
- 2 中継画面に表示される広告は、木古内町議会と一切関係がありません。
- 3 ご利用のパソコン環境により、映像や音声途切れたり、配信が停止されるなど、正常に視聴できない場合があります。
- 4 タブレット端末やスマートフォンでUstreamアプリを使用して視聴する場合、画面の一部が欠ける場合があります。

### (視聴できない場合)

- 1 視聴するパソコンに「AdobeFlashPlayer」がインストールされていない場合は視聴できません。アドビシステム社のウェブサイトへ移動のうえ、ダウンロードをしてからご視聴ください。
- 2 配信が途切れた場合は、ご利用のインターネットブラウザの更新又は再読み込みボタンをクリックしてください。



実際に議席に座ってみる児童



職員より説明を受けている児童

**編集後記**

■ 昨年は、新幹線開業関連行事がたくさん行われ、町民の皆さんにもご協力をいただきました。木古内駅周辺工事は着々と進み、いよいよ開業が近づいてきたという高揚感が湧いてきます。一方、同時開業となる「道南いさりび鉄道」は運賃が3割程アップとなり、利用者の方々にはたいへんな負担となります。その中で高校通学費について、町は増額分の助成を決定しました。

■ 私たち議員もこれらのことに浮き足立つ事なく、足下をしつかり見つめ、皆さんの付託に応えるべく、更に気を引き締めて行かなければならないと思っています。

■ 12月定例会から、議会のインターネットライブ中継が開始されました。さらに、その様子が1ヶ月間録画配信されます。皆さんの感想をお寄せ下さい。

議会だより編集特別委員会  
委員 相澤 巧

## お知らせ

### NEWS & INFORMATION

### 議会インターネット中継を自宅でご覧いただけます。

木古内町議会は、より開かれた議会を目指して、インターネット中継を行っております。

問合せ先  
木古内町議会事務局

TEL 2-3131  
FAX 2-3622



### 小学校児童が議場を見学

12月22日に木古内小学校6年児童が議場を見学し、議会についての基礎知識を学びました。